

15 アユの異型細胞性鰓病（ACGD）のウイルス検出法の開発

養殖アユで発生する異型細胞性鰓病（ACGD）の原因ウイルス（PaPV）の新たな検出手法の開発等により、病気の早期発見・早期治療が可能となりました。

【研究の背景】

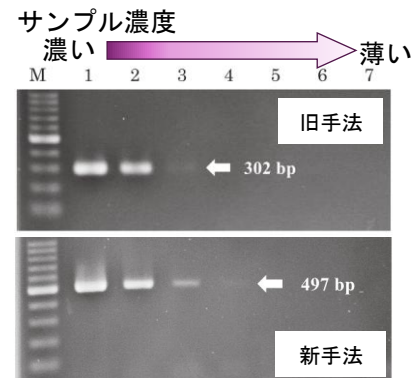
- ・アユのACGDは、PaPVが原因で呼吸不全により死に至る疾病です。養殖アユで発病し、治療薬が無いことから、その対策が求められています。
- ・そこで、ウイルスの検出方法の検討や感染経路の解明を大学等の研究機関と共同で行いました。

【技術の活用方法・期待される効果】

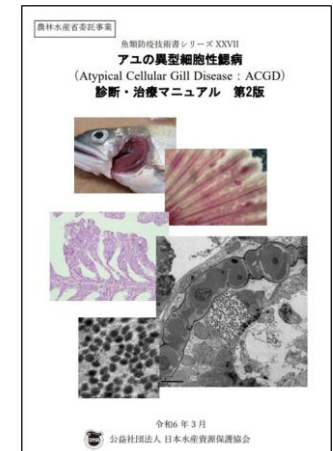
- ・早期発見・早期治療により、被害を軽減できます。
- ・感染経路を遮断し、感染リスクを軽減できる防疫対策を普及します。

【研究内容・成果】

- ・新たに開発した手法では、原因のウイルス（PaPV）遺伝子の検出感度が10倍程度向上しました。
- ・感染リスクの低減や被害を少なくするための対処方法を追記するなどして、マニュアル第2版を見直しました。



新たなPCR法による
PaPV遺伝子の高感度検出



改訂したマニュアル